プレスリリース

羽曳野市
HABIKINO CITY

「ちょっといいが そこにある」羽曳野

報道関係者各位

令和８年10月30日

自殺対策の人材育成推進
～大切な人を救う「命の門番ゲートキーパー」養成講座開催～

令和７年中、大阪府内の自殺者数は1,245人となっており、１日あたり約３～４人が自ら命を絶っている状況です。また、羽曳野市が小・中・高校生を対象に実施したアンケートでは、23.7%、約４人に１人が「消えたい」「いなくなりたい」と感じたことがあると回答しています。さらに、心が疲れてしまったときに相談できる専門機関について、「知らない」と回答した割合は42.4%であり、周囲に相談できず一人で抱え込んだりするケースもあります。こうした状況に対処し、自殺対策を推進するためには、悩みや困難を抱えている人の変化に早期に気づき、適切な支援につなげることが非常に重要です。羽曳野市では、自殺対策の一環として、身近な人の悩みや心身の変化に「気づき」、声をかけて「話を聴き」、必要に応じて相談窓口などの「支援につなぎ」その後も「見守る」ゲートキーパーの養成に取り組んでおり、この養成講座を開催いたします。



【ゲートキーパー研修風景】

市が実施するゲートキーパー養成講座では、悩みを抱える人への接し方や相談を受ける際の基本的な知識、適切な支援機関へのつなぎ方などを学びます。これらの学びを通じて、地域や学校、職場など、さまざまな場面において、悩みを抱える人を早期に発見し、必要な支援につなげることのできる人材の育成を目指しています。

開催概要	開催期間	9月～11月末まで
	開催場所	羽曳野市役所、四天王寺大学
	対象者	市職員（新規採用職員を含む窓口や職員の相談対応を行う所属の職員対象） 四天王寺大学　教育学部及び看護学部の学生
	内容	オリエンテーション、事前アンケート記入、講義　受講者に缶バッジを配布

問合わせ先　羽曳野市役所　健康増進課
電話番号：072-958-1111（代表）　072-947-3660（直通）
メールアドレス：kenkouzoushin@city.habikino.lg.jp